

令和元年度 第1回 監査委員会 議事録

開催日時 令和元年11月7日(木) 午後5時00分～午後6時40分

場所 杏林大学医学部附属病院会議室B(第2病棟2階)

出席者 委員長 宇井 義典 (医療法人社団佳仁会 三鷹第一クリニック院長、
三鷹市医師会監事 前医師会長)

委員 大瀧 純一 (学校法人杏林学園理事、杏林大学長)

齊藤 浩司 (三鷹市健康福祉部 保健医療担当部長)

橋本 雄太郎 (杏林大学大学院国際協力研究科客員教授)

オブザーバー 市村 正一 (杏林大学医学部附属病院病院長)

正木 忠彦 (杏林大学医学部附属病院副院長、医療安全管理部長)

篠原 高雄 (杏林大学医学部附属病院薬剤部長、医薬品安全管理責任者)

森山 潔 (杏林大学医学部附属病院医療機器安全管理責任者)

大荷 満生 (杏林大学医学部附属病院医療安全推進室長)

小寺 正純 (杏林大学医学部附属病院医療安全推進副室長)

古田 志津江 (杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー)

梅野 直哉 (杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー)

田島 紳介 (杏林大学医学部附属病院医療安全推進室専従薬剤師)

中野 貴仁 (杏林大学医学部附属病院医療安全管理部課長)

高野 智博 (杏林大学医学部附属病院医療安全管理部係長)

佐伯 杏奈 (杏林大学医学部附属病院医療安全管理部事務員)

事務局 小塩 秋彦 (杏林学園総務部副部長)

駒形 周一郎 (杏林学園総務課課次長)

井上 貴博 (杏林学園総務課事務員)

議題 医療安全管理体制の現状、医療安全推進のための活動状況

監査項目 インシデントレポート報告状況(医師・研修医の報告件数)、講習会確認テストの改善、医療安全相互ラウンドの実施報告、画像診断報告書の未読防止の取組、同意取得説明時の記録、医療機器及び医薬品の安全管理体制の業務状況の確認、倫理問題への対応、その他

監査結果・委員からの講評

1. 研修医のインシデントレポートでは、患者間違いや薬剤間違いが目立つ。改善策として検討しているバーコード認証を是非進めていただきたい。
 2. 医師のインシデントレポートの内容は患者影響レベルの比較的高いものが多い。インシデントレポート提出基準を明確に周知する必要がある。
 3. 講習会の確認テストの正答率100%を目指して取り組んでいることを確認した。引き続き取り組んでいただきたい。
 4. 他の特定機能病院との医療安全相互ラウンドでは、ラウンド先の優れた点を取り入れられていた。今年度も引き続き積極的な取り組みを期待する。
 5. 画像診断報告書の未読防止のために積極的に取り組んでいる。確実に対策を実施し、報告書を読むことが習慣になるよう努めていただきたい。
 6. 手術や検査の同意書の取得の際だけでなく、診療の経過を説明する際もその内容を文書で渡すと、理解の促進になる。ぜひ検討していただきたい。
- ※ 監査委員会による現場の確認は、次回以降に実施いたしたい。

以上